

れいわ ねんど  
令和5年度

がっこうじゅんかいこうえんじぎょう  
学校巡回公演事業

たの 楽しい! おもしろ 面白い!  
のう 能 「小鍛冶」 のうがくだいけん で能楽体験!!

# 能「小鍛冶」

こうえんだんたい 公演団体  
おおつきのうがくどう 大槻能楽堂

## プログラム

オープニング演奏

のう 能について

うたい ちょうせん 謡に挑戦!

のう がっきたいけん エアで能の楽器体験!

のう つか 能で使うあれこれクイズ!

のうめん ぶたい ある 能面をつけて舞台を歩こう!

かいせつ あらすじ解説

のうがくかんしょう こ か じ 能楽鑑賞「小鍛冶」

あいさつ 挨拶



文化庁

舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人日本芸術文化振興会



## がっこうじゅんかいこうえんじぎょう 「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこうどう ぶんかげいじゆつだんたい じつえんげいじゆつ じゅんかいこうえん おこな  
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、  
こども じつ たか ぶんかげいじゆつ かんしょう たいけん きかい 確保 ことども  
子供たちが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの  
ゆた そつそりよく そつそりよく しごうりよく のうりよく やしな  
豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養い、  
しょうらい げいじゆつか かんきやくそう いくせい すく ぶんかげいじゆつ そつそり し もくてき  
将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造に資することを目的としています。  
ワークショップでは、こども じつえんしどうまた かんしょうしどう おこな  
子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。  
また、じつえん ことども さんか くふう おこな  
また、実演においては、子供たちが参加できる工夫を行います。



# 能「小鍛冶」

あらすじ

ある日、不思議な夢を見た帝は、そのお告げの通り、小鍛冶宗近に刀をひくはせたいとお使いを出しましたが、宗近は、「返事ができません。」

「一緒に刀をひくゑ、相槌がいらぬことのみ。」

宗近が「神様にお願ひするしかない」と稲荷明神に行くと、ひとりの少年が近づいてきました。驚いた

「少年は宗近の名前も刀をひくゑの話も知って、用意を待つていなさう。必ず助けに行きます」と言いつて進ませました。

少年を信じて待つてると、狐の姿をした稲荷の明神様が現れて宗近の相槌をひくゑ、りっぱな刀をひくゑました。

小狐丸と名づけたその刀を、帝のお使いの人に渡すと、稲荷の明神様は雲に飛び乗って、稲荷山に帰っていきました。

不思議な不思議な、狐の神様のお話です。



## 登場人物

- ◆前シテ 童子
- ◆後シテ 稲荷明神
- ◆ワキ 小鍛冶宗近



# 能の用語

◆シテII物語の主役

能面をつけ、鬼や幽霊に変身して物語の主人公を務めます。

前半(前場)との後半(後場)に分かれている曲では、前半に出演するシテを「前シテ」、後半に出演するシテを「後シテ」と言います。

前シテの「童子」です(前半の姿)。



後シテの「稲荷明神」です(後半の姿)。赤頭や黒頭、白頭もあり、その日の演出で変わります!



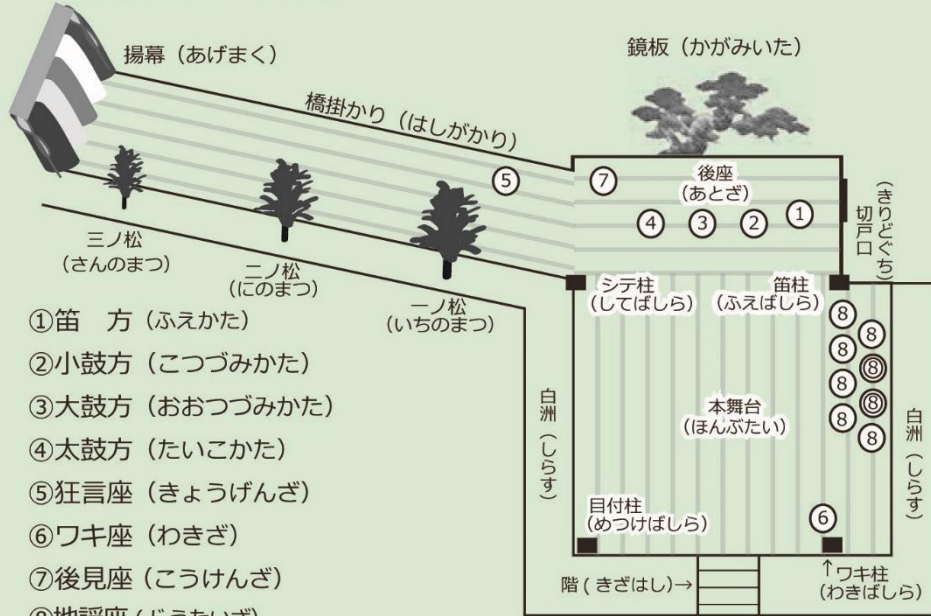
◆ワキIIシテの相手役

シテと共に物語を進めます。面はつけません。

- 作者 不明
- 素材 不明
- 場所 前場・稲荷明神の社 後場・京都三条宗近邸
- 季節 秋



## ●能舞台の呼び方



- ① 笛方 (ふえかた)
- ② 小鼓方 (こつづみかた)
- ③ 大鼓方 (おおつづみかた)
- ④ 太鼓方 (たいこかた)
- ⑤ 狂言座 (きょうげんざ)
- ⑥ ワキ座 (わきざ)
- ⑦ 後見座 (こうけんざ)
- ⑧ 地謡座 (じうたいざ)

◎のどちらかに地頭 (合唱のリーダー) が座ります。

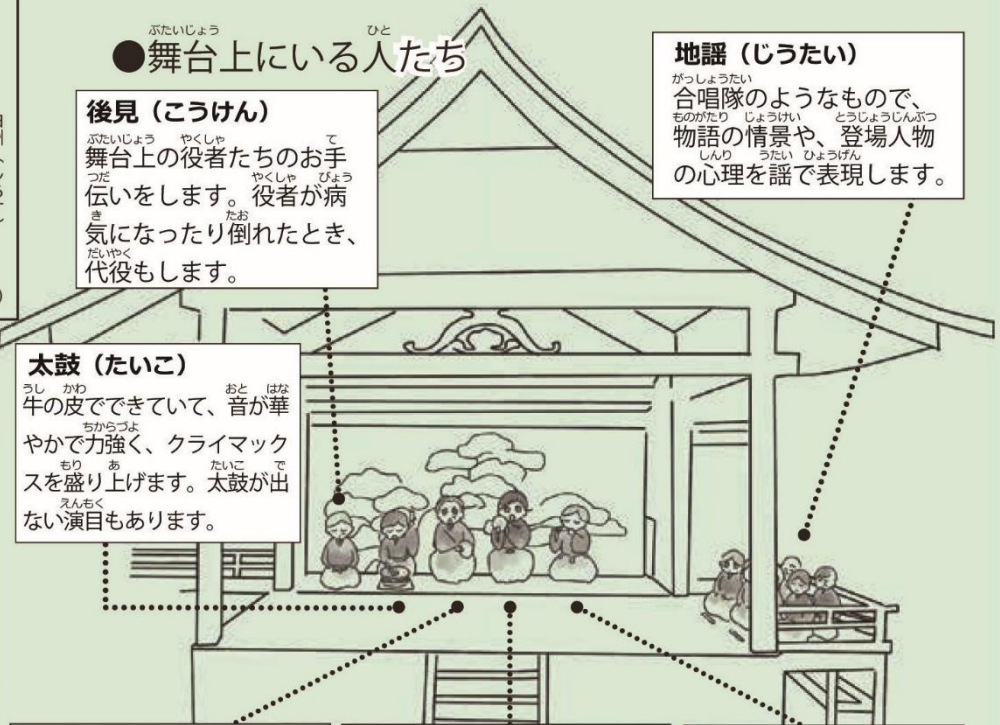
## ●能ってなあに？

能は今から約650年前に、観阿弥・世阿弥親子によって大成された、日本のミュージカルで、現在残っている世界中の演劇の中で一番古く、世界無形文化遺産にも登録されています。能舞台も特徴があり、舞台が客席に突き出しており、より演者やお囃子の迫力や緊迫感が客席に伝わる様式です。本公演の時は皆さんの体育館が能舞台に大変身します。お楽しみに！

## ●舞台上にいる人たち

**後見 (こうけん)**  
舞台上の役者たちのお手伝いをします。役者が病気になるったり倒れたとき、代役もします。

**地謡 (じうたい)**  
合唱隊のようなもので、物語の情景や、登場人物の心理を謡で表現します。



**太鼓 (たいこ)**  
牛の皮でできていて、音が華やかで力強く、クライマックスを盛り上げます。太鼓がない演目もあります。

**大鼓 (おおつづみ)**  
馬の皮と桜の木でできていて、演奏前に炭火で皮を乾燥させます。カーン!と真っ直ぐな甲高い音が響きます。

**小鼓 (こつづみ)**  
大鼓と同じで馬の皮と桜の木でできており、叩くときに、皮を張っている調緒を締めたり緩めたりして、音に変化をつけます。

**笛 (ふえ)**  
煤竹 (いろりの上で長くいぶされた竹) で出来ていて、能管とも呼ばれ、能の楽器で唯一のメロディ楽器です。

## こんにちは、大槻能楽堂です

大槻能楽堂は大阪で、昭和10(1935)年に大槻十三が設立。公益性をもった能楽堂として運営しています。近くには大阪城や大阪歴史博物館もある、文化豊かなところです。設立時に造られた能舞台は、登録有形文化財に認定されています。一度足を運んでみてくださいね。

**Noh** 公益財団法人 大槻能楽堂

公式HP  
<https://noh-kyogen.com/>

ようこそ能の世界へ  
<https://noh-kyogen.com/global/ja/>

大槻能楽堂チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCpWwY0ouWSQsqnsPHFvDag>